

タイトルの「岁月继续 葳蕤生香」は「素晴らしい思い出はいつまでも忘れずに、未来は常に花が咲き誇り、春のように明るく希望に満ちていることを願う」という意味です。

第3回

スィ ユエ チェンチュエン ウェイ ルイ ションシアン
岁月继续 葳蕤生香

王 克麗 (ワン・ケリ)

1992年、中国の河南省生まれ。日本の音楽や映画、ドラマを通して日本に興味を持ち、天津職業技術師範大学で日本語を学ぶ。2023年4月10日、中国語のALTとして白糠に着任。



今回のコラムでは、中国で話題になった教育現場の出来事を皆さんに紹介します。また、ALTとして主に白糠学園に通動しているマリ先生が感じた「アメリカと日本の学校の違い」についても皆さんと共有したいと思います。

山々に囲まれた
中国西南部の重慶市

今回取り上げるのは、重慶市で最近起きたことです。重慶市は地理的な影響もあって夏になると非

常に暑くなります。今年は小中学校が6月29日から夏休みに入り、9月2日に新学期が始まる予定でした。例年、ほぼ2カ月の夏休みがあります。しかし、今年は天候予報によると、毎日32度から40度の猛暑日が続いており、通学が危険だという懸念があつて、9月8日まで夏休みが延長されました。しかし、猛暑は続き、現在では9月17日まで延期されています。このような猛暑日はソーシャルメディアでも注目を集めており、誰しもが心配しています。

私が子どもの頃は、天候の影響で休みが延長されることはありませんでした。しかし、長い夏休みには宿題が多すぎて、いつも宿題を先延ばしにしてしまい、新学期が始まる前日から毎日泣きながら宿題をしていたのを今でも悪夢のように覚えています。

アメリカの給食

皆さんこんにちは。今年の7月29日にALTとして着任したマリアです。マリ先生と呼んでください。私からはアメリカの給食のお話をします。

アメリカでは、生徒は教室とは別の部屋、カフェテリアと呼ばれる場所で給食を取ることが多くあります。授業が終わると、カフェテリアに集まり、昼食をカウンタで受け取ります。給食のスタッフは大人でランチの準備や配膳、後片付けを担当しています。

教師はカフェテリアで学生を監督しています。時々、子どもたちが互いに食べ物投げ合い「フードファイト」になることがあるからです。

アメリカの給食には決まったメニューがあります。ハンバーガーやピザ、ラザニア、チキンナゲット、パスタ、肉料理です。おいしそうに聞こえるかもしれませんが、

残念ながら「おいしくない」と言われています。ですから、多くの生徒たちはお弁当を持ってきます。私が高校生のときも並ぶ列が長かったのでお弁当を持参していました。いくつかの高校では、生徒が昼食を買うために学校の外に出ることが許可されています。

最初に日本の給食の様子を見たときは驚きました。生徒たちがきちんと配膳し、全員がそろったら一緒に食べるという習慣は、アメリカでは考えられないことです。このように配膳し、全員を待つという行動は、子どもたちの将来に役立つと思います。生徒たちが責任を持って行動している姿に、とても感心しました。



写真上／重慶市で有名な観光地。写真下／アメリカの給食の様子